

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

太中岳に登って感じたこと

宮浦小五年

木木田

陽色

夏休みに入ってしばらくたった時、お母さんか

「陽色、夏休み中に太中岳に登ろう」

と、さそって来た。

ぼくはその山のことを知らなかったけど、

今年、太中岳以外の山に登って見たかった

ので、

「登りたい」

と、伝えた。

それからぼくは太中岳のことを調べた。そ

の山は宇治うぐら見える山だ。標高一四九七

メートルの頂上に約四十メートルの岩が立

っている。片道三時間位かかると聞いた。

ぼくは、つりつりした。

まが前日、麦生に住むおじいちゃんおばあちゃん

んの家泊まりに行った。理由は、ぼくには

殊と暑がいて、いっしょにはのぼ木なので面

倒きみてもらうためと、自分の家より近いか

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

らだ。

今回お父さんお母さん、ぼくの三人で登る
計画を立て、何か必要か話し合っで決めた。
キャンプ用のガスコンロを借りたり、持ち
物も決めて準備した。

夜ふかてもいいんだよ。
と言われても中々ねむれなかつた。

朝が来た。五時半になる前に家を出て、六
時すぎにはヤクスギランドに着いた。車をお
りた時外の空気がひんやりしていて少しむく

りした。入口からぼくの目指す太忠岳が見え
た。ドキドキした。体をほぐして出発した。

まずはヤクスギランド内の百五分コースを
進む。昔ばっさいさめた切り株を見たり、橋を
渡りたりした。と中から道がけわしくなった。

休けいをしてながら十時間じやもん杉に。こ
の先から太忠岳のコースに入る。
大きな木々の中を歩いていると不思議な気持

ちになつた。この山にサルとシカとぼくたち
三人なのかなと思つた。

No. 2

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

No. 3

時々ビソワのテーパーをさがしながら歩いた。
 急な変り坂が続いた所は苦しかった。お母
 さんとお父さんと「がんばれ!!」と何回も声
 をかけてくれた。ぼくはがんばろうときめた。
 えの先もロープを使って登るところがあった。
 ちると急に目の前に大きな岩が現れた。も
 うすぐだ。岩をロープでありて次にロープで
 登ると目指していた太中岳だ。ぼくは初めて
 達成感を味わった。頂上から見ると景色がきれい
 だ。山頂上から見ると山頂上の人なにか
 さな岩があることにびっくりした。屋久島
 てすごいな、おもしろいなと思った。
 おもしろいなと思った。
 この一日でぼくはたくさんおもしろい
 た。がんばって良かった。またこの気持ちを
 あじわいたい。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

